

北海道浮魚ニュース

令和3(2021)年度3号

2021年5月24日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ

<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎浮魚類漁場探索調査

5月のマイワシ分布量は昨年より少ない
マイワシは16~19cm台が主体

ロシア主張200海里内でのさけ・ます流し網漁業の代替として始まったサバ・イワシ棒受網漁業へ漁場情報を提供するための調査を実施したのでお知らせします。

- ・調査期間：2021年5月11~20日
- ・調査方法：計量魚群探知機による魚探反応量の計測
船底温度計（水深3.4m）による水温観測，XCTDによる海洋観測
表層トロールによる漁獲試験（1時間曳網）
- ・調査海域：道東太平洋海域

1. 水温分布（図1）

北緯41度以北の海域では、水温8℃以上の水塊が、東経145度30分、北緯42度40分付近と東経145度、北緯42度50分付近に点在して見られました。（図1）。水温10℃を超える黒潮系暖水は、北緯40度50分付近まで北上しています。

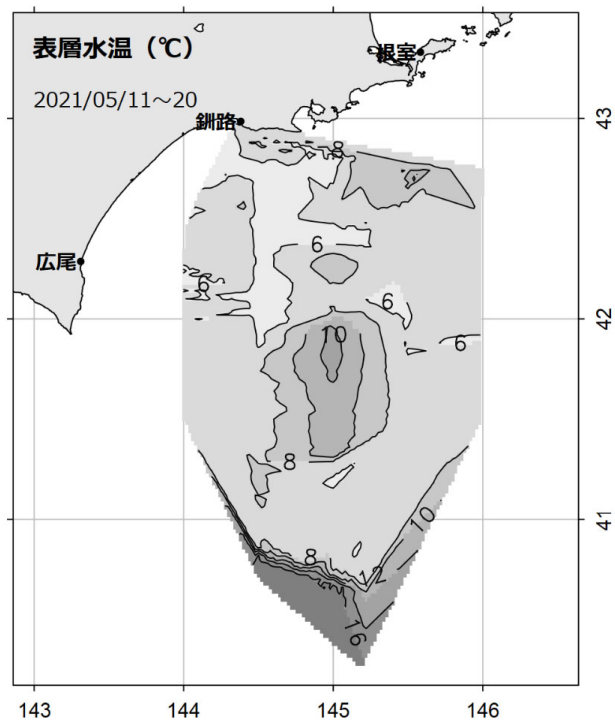


図1 2021年5月浮魚類漁場探索調査時の水温図（船底水温計データ）

2. 計量魚探調査 (図 2)

2021年5月11～20日に行った計量魚探調査では、調査海域内(水深6～50m)で5,000m²/nmi²を超えるような、まとまった反応は見られませんでした。また、昨年(図2右図)と比較して調査海域内の反応量は少ない結果となりました。

少ないながらも魚探反応が見られた海域は、水温が8℃を超えていた海域とおよそ一致していました(図1, 図2)。

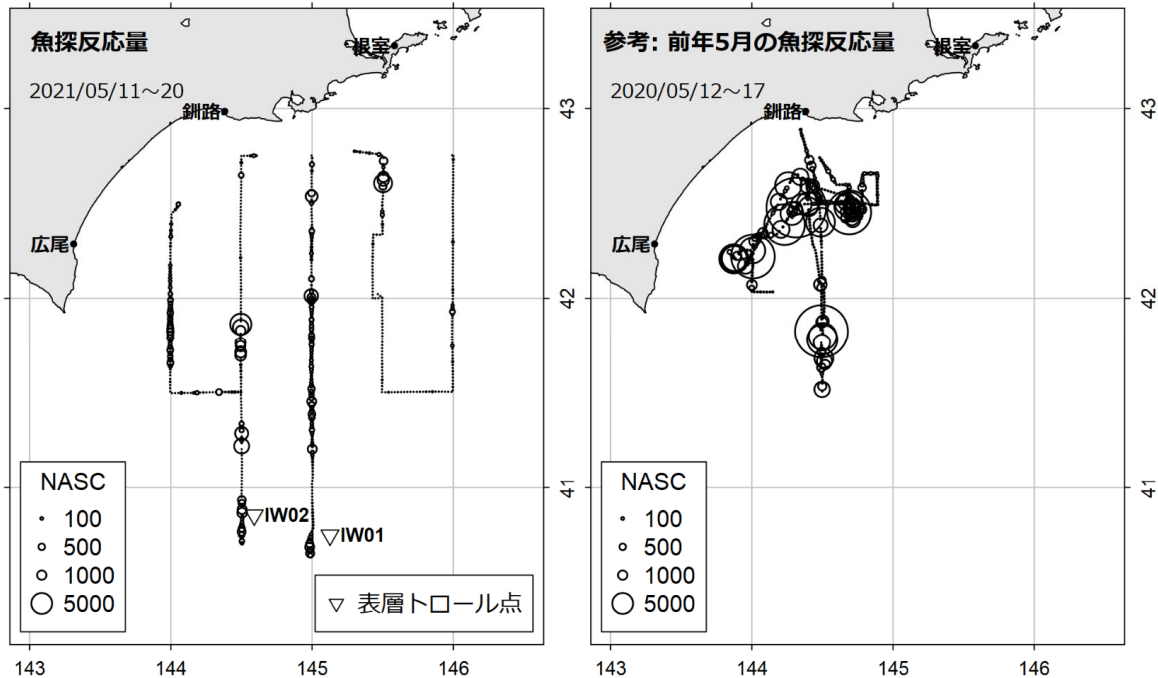


図2 2021年5月浮魚類漁場探索調査時の計量魚探調査結果
(NASC : 1 平方マイルあたりの魚探反応量)

3. 表層トロール調査による浮魚類の漁獲尾数 (図2, 表1)

マイワシは、IW01地点で4,654尾、IW02地点では1,413尾が漁獲されました。マイワシ以外の漁獲物は、サバ類が5尾(IW01地点)のみで、カタクチイワシとサンマは漁獲されませんでした。表層トロール調査の結果から、魚探反応の大部分はマイワシであると考えられます。

表1 2021年の浮魚類漁場探索調査におけるトロール調査結果

調査点 番号	調査日	位置		水温			漁獲尾数			
		北緯	東経	3.4m	20m	50m	サバ類	マイワシ	カタクチイワシ	サンマ
IW01	5/15	40-44	145-07	8.6	6.4	6.0	5	4,654	0	0
IW02	5/15	40-51	144-35	10.2	7.3	3.8	0	1,413	0	0
合計							5	6,067	0	0

サバ類にはマサバとゴマサバが含まれます

3.4mの水温は船底水温計、20mおよび50mの水温はXCTDによる計測結果です

4. 表層トロール調査で漁獲された浮魚類の体長組成 (図3, 図4)

漁獲されたマイワシの体長は、調査点によって大きな違いはなく 16~19 cm 台の中羽サイズが高い割合を占めました (図3)。マイワシの体長組成を、昨年 (2020年) と比較すると、2021年は体長 15cm 未満の小型個体の割合が大幅に増加しましたが、20cm 以上の大型個体の割合が低下しました。(図4)。漁獲されたサバ類の尾叉長は 20~30cm の範囲にありました (図4)。

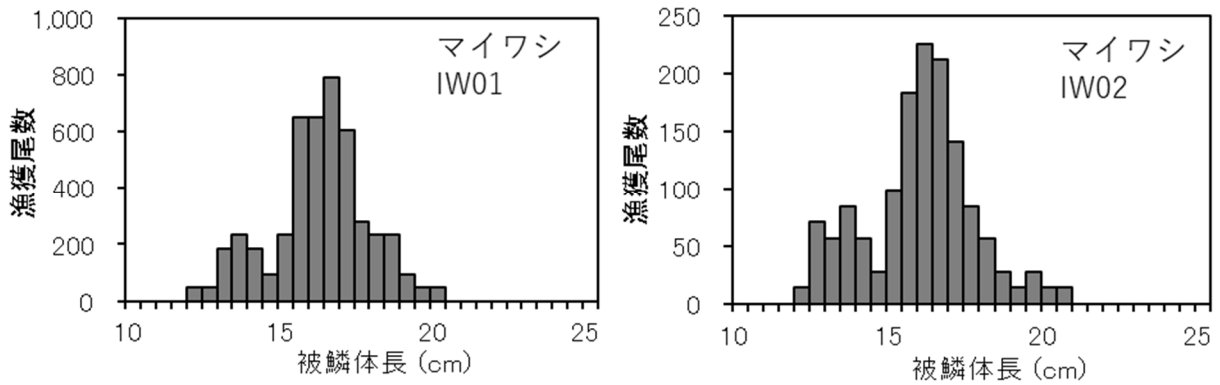


図3 漁獲されたマイワシの体長組成

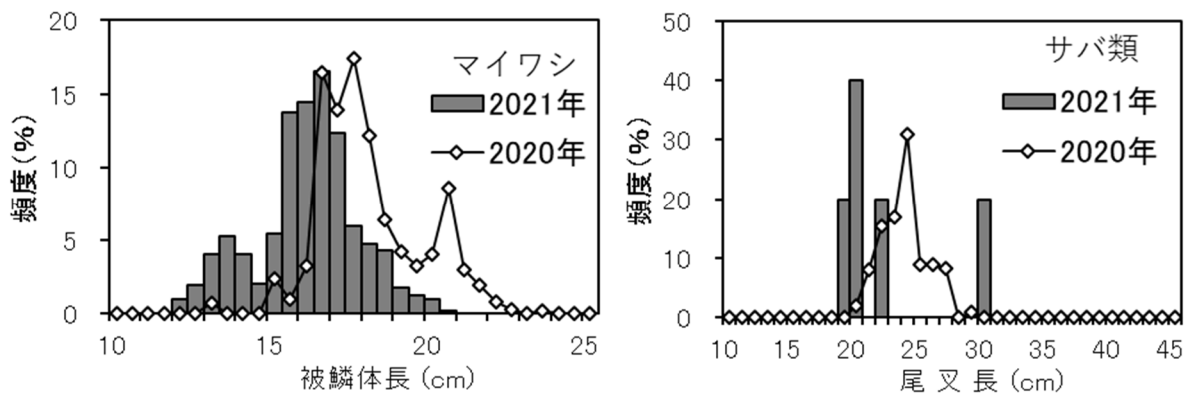


図4 全調査点合計のサバ類およびマイワシの体長組成

北辰丸 海洋観測速報 (試験運用中) <https://hro-fish.net/hokushin/>
 (釧路水産試験場試験調査船北辰丸の海洋観測結果がご覧になれます。)

お問い合わせ先：釧路水産試験場調査研究部, [TEL:0154-23-6222](tel:0154-23-6222)
[FAX:0154-23-6225](tel:0154-23-6225)